

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	広島県立福山若草園児童発達支援センター若草育成園		
○保護者評価実施期間	2025年 8月1日		～ 2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日		～ 2025年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内に小児科医師・整形外科医師・歯科医師や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士や管理栄養士がいるため、日常的な連携が可能で専門的相談をしたりリハビリを受けたりすることができる。	個々のケース会議や摂食会議に医師やセラピストが参加し情報共有や支援を一緒に検討している。	さらに連携を密にし専門的視点からの意見を生活面や保育面に生かす。また、保護者への研修やアドバイスも受けやすくする。
2	保育活動する部屋やリハビリも各専門の部屋が整っており、子どもたちが集中できる環境がある。	単独通園となり3年目であるが、保育活動をする部屋は子どもたちにとって使いやすい空間となるように職員間で話し合い、変更しながら使用している。 また、行事や必要に応じてフロア部分の広さや家具の配置を変えて使用している。	今後も子どもたちが安全で使いやすい空間を検討し、必要に応じて改築や物品購入も含めて変更をする。
3	管理栄養士を配置し、子どもたちの成長や摂食機能を考慮した給食を提供している。	歯科医師により、摂食機能を調べた上で、ペースト食・なめらか食・大刻み食・普通食の中から適した食事形態を提供している。	定期的な摂食訓練を行うことで、言語聴覚士とも連携し、安全でおいしく食べることのできる食事形態、メニューを提供する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子育てについての保護者支援の難しさ	併行通園利用児が多く、併行先(保育所)で他の子どもと比べてしまったり、出来なさが気になるなど、保護者は育児についての不安を感じている。 保護者の思いに気付きにくい時がある。 保護者同士の交流の機会が少ない。	送迎の際に保護者に子どもの様子をお伝えすることはこれからも継続し、保護者からの悩みや不安に寄り添いながら、支援を行っている。 卒園された子どもの保護者の方から話を聞く機会を設けるなど、就学や少し先の見通しが持てるような支援を行っていく。 参観日など親子行事の際にピアカウンセリングの時間を設ける。
2	保育所や幼稚園、認定こども園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会が設けられていない。	近隣の保育所等の直接的な交流についての話はできていない。	地域との交流の機会は必要であると感じている。どのような形で交流の場を設けていくかを考えていきたい。
3	併行通園先など関係機関との連携	併行先の保育所や事業所等とは連携はとっているが十分ではない。	しっかりと連携を行っていくために、情報の共有とともに、園内での様子を見に来ていただくなど、考えあい、支援につなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	広島県立福山若草園児童発達支援センター福山若草育成園
------	----------------------------

公表日 2026年 2月10日

利用児童数 2025年8月1日

14名

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1				ゆったりと安全に遊べるよう、玩具や遊び道具の整理をしながら、環境を整えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					職員数は適切に配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		1		活動によって座位保持椅子やバギーで行ったり、セラピーマット上に座ったり機になって行ったりしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1				車いすやバギーで屋内外移動をするためその都度タイヤ拭きを行いマットや玩具も拭いています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2				子どもの状態を確認し、ご家庭や併行先での様子も合わせて、個別支援計画を作成しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	2				子どもの園での様子、家庭での様子、併行先での様子と合わせて児童発達支援責任者を中心に個別支援計画を作成していきます。具体的でわかりやすい支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1		1		人との関係を豊かにしていけるよう、遊びや生活の中で具体的な支援方法で支援計画を行っていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				子どもの様子をチームで確認しながら支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2		安心して繰り返し行える活動に加え、子どもたちの様子を確認しながら、変化を加えていき、遊びの幅が広がるように努めます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		3	5		園に向いて活動という設定はできていませんでしたが、近隣の保育所に隣接する公園に散歩に出かけ、保育所の子どもたちに挨拶するなどの機会を作っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	1			見学や入園にあたっての契約時に説明をさせていただいております。わかりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					子どもの様子と照らし合わせながら計画の説明をしていきます。分かりやすく説明していけるよう努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		1	3	年度途中からの利用なので、まだわかりません。	ペアレントトレーニング等は行っていますが、子どもの状況や保護者の思いを聞きながらより良い支援につながっていくよう努めます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	2				日頃から子どもの状況を伝え合い、現在の状況を把握し支援していけるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			2	年度途中からの利用なので、まだわかりません。	療育時間内でご家族のご都合に合わせて面談を行っています。また、ご希望があれば随時行っています。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1		1		ご家族の思いや願いをしっかりと伺ったうえで支援を行っていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	5	年度途中からの利用なので、まだわかりません。	参観日に保護者会を開催しています。保護者同士の交流や、保護者会主催の研修会を行っています。きょうだい向けのイベントは特に行っていませんが、家族で参加いただけるような園行事はありません。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		2		必要があれば、面談ができる体制を作っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1				個々への情報伝達や配慮を大切に職員間で共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		1		定期的に通信でお伝えしています。自己評価の結果はホームページで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1		今後も個人情報の取り扱いには十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	0		マニュアルについては、通信でお伝えいたしました。保護者控室に閲覧ができるよう設置しております。周知・説明を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			2		定期的な火災訓練に加え、園全体で地震津波訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		子どもの安全がしっかりと確保できるよう、避難時の持ち出し物や使用バギーなど定期的に点検を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		1		事故が発生した際には速やかにご家族に連絡を行い、けがの際には医師の診察を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6			1		これからも、安心して通っていただけるよう努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1		1		若草園に通園し楽しいと思っただけできるよう、療育内容の充実にも努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	3				子どもが楽しく通い、保護者との信頼関係を深めていけるよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 2月10日				
広島県立福山若草園児童発達支援センター福山若草育成園						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	バギーや座位保持椅子で活動するスペースとセラピーマットの床上で活動するスペースを設けています。	親子通園を行っていた時の間取りで造られた建物ため、スペースは広いです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	子どものロッカーの荷物がごにはマークなど子ども自身にわかりやすく工夫しています。トイレをデイルームの近くに設置するなどの工夫をしています。	親子通園を行っていた時の間取りで造られた建物の配置のため、使いにくい部分もあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日清掃して清潔な生活空間にしています。活動に必要なものは片づけたり、視界にいろいろな物が入り、気が散らないように配慮しています。	感染症に注意をはらい、消毒を徹底して行うようにします。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	必要に応じて個別の場所を使用できるように衝立などでスペースを区切るなどしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	業務の空いた時間を見つけ、話し合いの時間を作っています。様々な視点で課題を捉え改善に向けて話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	職員で保護者の意向について情報共有を行い改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に話し合いの場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	年に2回外部評価を行っています。評価結果を支援につなげるようにしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に研修に参加しています。また、園内でも研修会の機会があります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページで公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	保護者のニーズを聞き取り、子どもの課題について保護者と共有しながら計画につなげています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	業務の空いた時間を見つけ、一人一人の計画について全職員で話し合いの時間を作っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画作成時に、全員で意見を出し合い作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	標準化されたツールの使用はありませんが、発達状況から把握に努めています。	標準化されたツールは用いていませんが日々の状況を把握して共有を行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿ってできるだけ具体的な支援内容で支援計画をたてるように努めています。	子どもの状況や保護者の思いをしっかりと聞きながら、個々に応じた具体的な支援計画をたて丁寧な説明を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	業務の空いた時間を見つけ、話し合いの時間を作っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	朝の会ではわかりやすさと保育の導入の視点から同じ流れで行うようにしていますが、集団活動では子どもの様子や季節にあわせた遊びを行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	毎日、集団活動と個別活動を組み合わせる支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日、支援開始前に打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援の空いた時間を見つけて振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援内容や子どもの様子については記録をとっています。	日々の支援の記録はとっていますが、記録をもとに定期的な検証をしていくようにします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	6か月ごとにモニタリングを実施し、計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	子どもの状況を理解している職員が参加するようにしています。	今後も必要に応じて参加し連携を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	相談支援を通じて関係機関と連携しています。	関係機関と連携を取りながら支援につなげていきたいと考えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて情報共有等の連携を行っています。	関係機関と連携を取りながら支援につなげていきたいと考えています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じて情報共有等の連携を行っています。	移行支援の必要性がある場合には情報共有を行います。保護者からの依頼があれば行っていきたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1	格種、地域の協議会等に参加し地域課題等の検討を行っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	専門家の助言を受けたり研修には参加しています。	さらに必要な研修に参加できるようにしていきたいと考えています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2	参加しています。	参加した職員はその他の職員への情報共有を行っています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	園に出向いて交流活動の設定は行っていないが、近隣の保育所に隣接する公園に行き、保育所児と遊具を共有して遊ぶことがあります。今後も積極的に交流したいと思います。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	降園時、その日の様子をお伝えするようにしています。また、気になることや保護者からの申し出があった際にはその都度面談をお行うようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族が参加できる研修会の情報提供をお便りや掲示板などで行っています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		子どもや保護者の意向を確認し、子どもの利益を最優先に支援計画を作成していきたいと考えています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	事前にお渡しして目を通してもらった後にご説明するようにしています。支援計画には必ず同意をいただき支援を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	家族からの相談にはその都度応じ、面談等を行っています。助言と必要な支援については、園で行う支援と家庭で行ってほしい内容についてお伝えしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会の研修会（学習会）を保護者会とともに開催しました。単独通園のため、家族同士が交流する場が少ないのですが、同じ悩みを持つ家族で話をする機会をもつことができました。	保護者同士の交流の場が少ないと感じています。きょうだい同士の触れ合う機会もないため、行事の際に設定していきたいと考えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れには対応できる体制をとり対応をしています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、園のお便りを発行しています。行事についても、早めにお伝えできるようにしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報に管理に努めています。	個人情報については十分注意を払っていきます。今後も職員全体で取り組んでいきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々の状況に応じて、できる限りわかりやすく伝えるようカードや具体物で説明するなど配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。	4	1	事業所としてはありませんが、園行事として若草祭を実施し、広く地域の方に参加していただきました。また、事業所としては地域の福祉、教育関係者に向けて研修会を開催いたしました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		マニュアルを定期的に見直し、保護者に見てもらう機会を作ります。また、定期的に訓練を実施する予定です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に非常災害訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	入園児に確認し、職員間で周知を行っています。服薬のある場合は定期的にお薬手帳で確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		食物アレルギーのある子どもについては医師の指示書をいただくようにします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	定期的に安全管理を行っています。定期的に使用物品（椅子やテーブル、活動物品）のネジのゆるみや破損などがなければ確認しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画について、保護者に見てもらう機会を作ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	医療安全委員会でも再発防止に向けた方策を検討し、全職員に検討内容を伝えていきます。また、毎年研修も行っていきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	外部講師による研修やグループ討議、セルフチェック等を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	座位保持椅子でのベルト着用など、安全確保という観点から使用については、入園時に説明と了承をいただいています。		